

メタルドゥ 業容拡大で東京事務所を移転

2014.12.24 09:07

 Tweet  8+1  0

レアメタルリサイクル大手の株式会社メタルドゥ（本社：大阪市西区 山頼敏彦社長）は業容拡大、人員増に伴い、このたび東京支店の事務所を移転した。新事務所は東京都江東区南砂2丁目36-10光陽ビル5F。



東京物流センターは従来の新木場（東京都江東区新木場3丁目）で変わらずに受入、検収を行うが、物流センターも敷地を拡張（+150坪で700坪に）し、設備増強、人員も増やしていく。

東京ではメタルドゥ全体の30%の扱い量をこなしているが、現場（東京物流センター）が狭くなってきたこと、営業面での利便性などを考慮し、これまでの現場と営業事務所一体型から営業事務所を切り離すことにした。物流センターでは5～6名が常駐、営業チームは高橋支店長（37歳）はじめ7～8名。新木場の物流センターはゆくゆくは1000坪までは拡張していく方向。

東京支店は最初はプレハブ倉庫の3名から始まったが、瞬く間に拡大してきた要因は若きリーダー高橋支店長の営業努力もさることながら、メタルドゥという会社の信頼性がスクラップ業界、発生元メーカーなど幅広い市場に広がり、確立していることの証左であろう。

高橋支店長は「これまで東京支店は営業3名で1000トン近い物量をこなしてきたが、現場的にもユーザー対応的にも無理をきたしていた」という。



山頼社長（左）と藤田相談役

藤田相談役、山頼社長も東京の今後の発展に期待を寄せているが、本拠地である大阪（+神戸）でも各種レアメタルスクラップの検収、加工処理増などで現有処理能力を超えた物量を扱っており、圧倒的にマンパワーが不足しているという。

メタルドゥは現在71名の人員を擁しているが来年も増員見込み。今年も8名の増員。大阪での加工処理業務（内製化）が忙しくなっているため、現場、営業ともに実働部隊が増えるという。今期が第36期の決算（2015年2月）を迎えるメタルドゥだが、売上、収益ともに前年比で2桁増になる見込み。

(IRUNIV Yuji Tanamachi)